

「はばたけ未来へ！ 京都市ユースアクションプラン」

行動計画見直し案に関する市民意見への対応（案）

御意見	修正 ページ	修正内容
「インターネット・スマートフォンや薬物乱用防止に関する取組の推進」という表記は、薬物との併記によって、インターネット・スマートフォンが単に危ないという短絡的なものとなってしまうため、表記を改めた方がよい。（1件）	9	「Ⅰ－1(3) インターネット・スマートフォンや薬物乱用防止に関する取組の推進」の表記を「インターネット・スマートフォンによる <u>弊害</u> や薬物乱用の防止に関する取組の推進」に修正
薬物に関しては、利用経験者を排除するのではなく、取り込んでいくことが大切と思う。（1件）	9	「Ⅰ－1(3) インターネット・スマートフォンや薬物乱用防止に関する取組の推進」の「施策を展開する方向性」の中で、「薬物依存に苦しんでいる青少年に対しても」を追記
「ブラック企業」の説明を加えてほしい。（1件）	9	「Ⅰ－1(4) キャリア教育の多面的推進及び就労体験の機会の提供」の「現状と課題」に記載の「ブラック企業」に注釈を追記
地域活動への参加のためには、分かりやすい広報が必要である。（9件）	1 1	「Ⅰ－2(3) 市政や地域コミュニティへの参加の促進」の「施策を展開する方向性」の中で、「地域活動に関する分かりやすい広報を行うなどの取組」を追記
地域の情報が少ないので、情報提供をしてほしい。（7件）		
若者の投票率を上げるために、大学に住民票の移動と投票を呼びかけてもらうよう市内の大学と連携してはどうか。（1件）	1 2	「Ⅰ－2(3) 市政や地域コミュニティへの参加の促進」の「施策を展開する方向性」の中で、「大学等との連携」を追記するとともに、「具体的な取組」について、「大学（学生）等との協働による啓発活動」と修正
子ども達の孤食化や栄養不足など様々な問題が出ている。（1件）	1 4	「Ⅱ－1(1) 青少年施設の居場所機能の強化」の「施策を展開する方向性」の中で、「孤食化・栄養不足等に対応するための」を追記
ひきこもりの支援では、家まで出向いて行って直接話をするなどの訪問支援が必要だと思う。（2件）	1 5	「Ⅱ－2(1) 子ども・若者支援地域協議会の枠組みによる支援の重点取組」の「現状と課題」の中で、「主導的役割を担う支援コーディネーター」を追記するとともに、「施策を展開する方向性」の中で、「支援コーディネーターが、相談者の自宅への訪問や居場所への同行などを含めた総合的・継続的な支援を行うとともに」を追記
ひきこもり等の支援では、同じことを経験したことがある人などが、ひきこもりやニートになったきっかけやどのように立ち直ったのかを話してもらってはどうか。（3件）	1 5	「Ⅱ－2(1) 子ども・若者支援地域協議会の枠組みによる支援の重点取組」の「施策を展開する方向性」の中で、「ピアサポーターとして」を追記するとともに、「具体的取組」の中で、「ピアサポーター養成・派遣事業の実施」を追記

